

1

(1) 関数 $y = -2x + 1$ について、 x の値が -1 から 4 まで増加するときの y の増加量を求めよ。

(2) 関数 $y = 4x - 6$ について、 x の値が 1 から 3 まで増加するときの変化の割合を求めよ。

(3) 関数 $y = 5x^2$ について、 x の値が 1 から 3 まで増加するときの変化の割合を求めよ。

(4) 関数 $y = ax^2$ について、 x の値が 1 から 5 まで増加するときの変化の割合が 12 であるとき、 a の値を求めよ。

(5) 2つの関数 $y = ax^2$ と $y = -2x - 5$ について、 x の値が 1 から 3 まで増加するときの変化の割合が等しくなる。このとき、 a の値を求めよ。

(6) 一次関数 $y = 3x + 1$ について、 x の増加量が 2 のときの y の増加量を求めよ。